

## 【理念】

主に難治・慢性疾患の子どもを対象とした医療・保健・療育・福祉サービスの県の中核機関として、安心・信頼・満足の得られる医療・ケアの包括的なサービス提供を行います。

## 【基本方針】

●高度な専門知識と技術の向上に努め、良質で安全な科学的根拠に基づいた医療を、十分な説明と納得の上で提供します。

●地域の医療、保健、療育、福祉、教育機関との機能分担・連携を図ります。

●小児の医療、保健、療育、福祉にたずさわる専門家の育成、学生教育への協力および臨床研究を通じて、県下の小児保健医療の発展と向上に貢献します。

●県立病院の使命としての政策医療を推進します。

## 診療科等のご案内

### ◆ 診療科目

小児科（総合内科・神経内科・アレルギー科）  
こころの診療科（精神科）、整形外科、小児外科、眼科  
耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科

### ◆ その他の外来

予防接種、肥満、発達障害、ダウン症  
臨床遺伝カウンセリング

- 内科系：頭痛、心臓内科、腎臓内科、内分泌・代謝科、血液・リウマチ科
- 外科系：泌尿器科、脳神経外科、形成外科

### ◆ 病床数 100床

## ご利用案内

### ◆ 外来診療

- 小児科（総合内科）を除き、原則として予約制です。
- 診療時間 午前 9時00分～午後 5時00分
- 予約受付時間 午前 8時30分～午後 5時00分
- 休診日 土・日・祝日・年末年始

### ◆ 初診時の注意点

- 0～18才未満の方を対象としています。

#### 初診時に持参いただくもの

- 保険証（国保・協会健保・共済等）：受診時毎月提示してください。
- 母子健康手帳（乳幼児の場合・こころの診療科受診の場合）
- 医療券（公費負担をご利用の場合）

★予約直通電話：077-582-8425★

小児科（総合内科）は予約なしで受診していただけます。  
診療受付は午前11時30分（月～金）までです。

## 地域医療連携室ご利用案内

- 受付時間 月曜日～金曜日  
午前9時00分～午後4時30分  
（土、日、祝日、年末年始は除く）
- 直通電話 077-582-6222
- FAX番号 077-582-6276



### 滋賀県立小児保健医療センター（編集発行）

〒524-0022 滋賀県守山市守山五丁目7番30号  
Tel：077-582-6200  
Fax：077-582-6304  
HP： <http://www.pref.shiga.lg.jp/mccs/index.html>



（令和元年11月発行 Vol. 33）

## 防災・救急週間のイベントを実施して

9月9日は、「救急の日」です。今年の救急の日には、台風15号が千葉県に大きな被害をもたらしました。

当センターでは、毎年9月に救急・防災のイベントを開催しています。第6回目の今年のテーマは、“医療的ケアが必要な子どもと家族を支える防災と救急「一人一人ができる備えをしよう！」”と題し、9月11日には家族の皆様と一緒に、医療的ケアが必要な子どもと家族の防災について考え、心肺蘇生を学ぶ機会をもちました。

また、滋賀県看護協会の災害支援ナースに登録しているスタッフの企画による「防災シールラリー」を開催したところ、多くの子どもたちが参加してくれました。

当日は、次のことについて皆さんで話し合いました。

### 1. 自分たちが住んでいる地域で、想定されている災害状況を知りましょう。

家族で、ハザードマップを作成してみましょう。

これは、滋賀県のホームページでも多くの情報が発信されています。ぜひ、みなさんも一度ご確認ください。

<http://shiga-bousai.jp/sp/>（スマートフォン用）

### 2. 自分たちの避難場所と避難経路を確認しましょう。

そして、家族のルールを決めましょう。

災害は、家族が一緒にいるときに起こるとは限りません。家族がばらばらの時に起こった場合、「ここで待ち合わせしよう。」や「災害伝言ダイヤルに伝言を残して、連絡を取り合おう。」など、決めておくことをお勧めします。台風15号の被害時は、携帯電話の基地局の被害の為に、携帯電話が何日もつながらない状況がありました。この世の中、携帯さえ持っていれば何とかなる！という声も聞かれますが、ITなど便利になった今の時代でも、災害時には、古典的な手段が絶大な機動力を発揮するものです。

### 3. 避難時の持ち出し物品を準備しましょう。

医療的ケアが必要なお子さんは、一人一人、必要な物は異なります。オリジナルの非常時持ち出しバックを作成しましょう！また、非常時持ち出しバックは、分散して、保管しておくことをお勧めします。例えば、自宅内に2日分、自家用車内に2日分などです。

### 4. 電源の確保と、非常時に使える医療機器の代用品について考え、準備しましょう。

医療的ケアが必要なお子さんとそのご家族が一番心配されるのが、電源の確保です。

具体的には、車のエンジンから電源を引くことを想定されている方が多いようです。そのためにも、車のガソリンは、半分になったら必ず給油するよう、心がけましょう。東日本大震災の時は、多くの方がガソリン不足にも困ったそうです。

いつ来るかわからない災害、しかし、30年以内に70~80%の確率で起こると想定されている南海トラフ地震に向け、確実な備えをしていきましょう。滋賀県では、2013年の台風による土砂崩れで死者が出たほか、2017年8月には姉川が氾濫し、家屋の浸水や交通網の乱れが起きました。このように、地震だけでなく、自然災害に対する備えも必要となります。自然災害の場合は、ある程度の予測が付きます。そのため、「早め、早めの行動」が、自分と家族を守ることに繋がります。

備えあれば 憂いなし

みなさんも、自分と家族の防災と一緒に、考えていきましょう。私たち医療者は、そのお手伝いをさせていただきます。

(小児救急看護認定看護師 馬場 恵子)



## 頭痛外来について

中学生の22.8%が強い頭痛を感じたことがあり、7%が頭痛を理由に病院を受診したことがあると報告されています。

頭痛は一次性頭痛と二次性頭痛に分けられます。二次性頭痛は何か原因があって頭痛が出現するもので、急性疾患ではインフルエンザなどの感染症が多いです。慢性頭痛では検査しても何も異常がでない頭痛、つまり一次性頭痛が多く、当院の頭痛外来では5%未満です。一次性頭痛は最も有名なのが片頭痛で、最も多いのが緊張型頭痛です。片頭痛は強くて、ズキズキ、ドクドクという拍動性頭痛、嘔気嘔吐を伴い、光や音へ過敏になったりする特徴があります。緊張型頭痛は片頭痛に比べると弱く、重い感じ、締め付けられる感じと表現される頭痛が出現します。

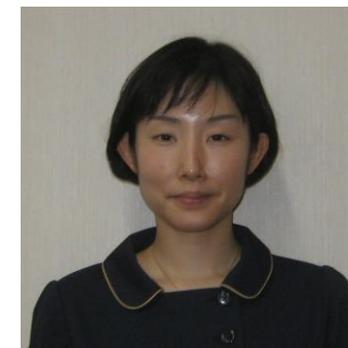
繰り返す頭痛を減らすのには生活習慣を整えるのが一番です。しっかりと睡眠をとることを基本にして、疲れやストレスを減らすのも大事です。痛いときは頓服薬を飲むのが基本ですが、飲み方には工夫が必要です。特に片頭痛に対して頓服薬を使用する場合は頭痛が開始したらすぐに内服するのが重要です。

タイミングはなかなか子どもには分かりづらいのですが、何となく頭が重い感じがしたときに頭を左右に振ってズキッと感じたら飲むとよいと思います。それでもしつこく頭痛が続く場合は予防内服薬を毎日服用する治療を試みたり、他の疾患が重なっていないか精査する必要があるため専門的な診療が必要です。

当院では毎週火曜の午後に頭痛外来を開設していますので、お気軽にご相談下さい。

下村英毅（小児科非常勤医師、頭痛外来担当）

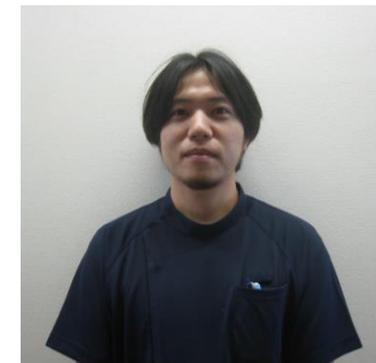
## 新任医師紹介



【氏名】  
石原 万理子(いしはら まりこ)

【専門】  
小児科

【ご挨拶】  
当院を受診されるお子様、御家族のお役に立てるよう、真摯に診療に取り組んでまいります。



【氏名】  
宗圓 充(そうえん みつる)

【専門】  
整形外科

【ご挨拶】  
小児整形領域はまだこれから勉強ですが、頑張りますので、宜しくお願いします。



【氏名】  
松岡 夏子(まつおか なつこ)

【専門】  
整形外科

【ご挨拶】  
静岡から来ました。子供たちのために頑張ります。